



ミトラの秘儀シリーズ2

Mysteria Mithrae: Secret of Twelve Signs

By Masato TOJO, Ph. D.

東條真人 [著]

# ミトラの秘儀

## -星座の秘密-



MIIBOAT

《ミトラの秘儀》の本格的な入門書・解説書！

MIBOAT Textbooks on Mysteria Mithrae

# 電子版 ミトラの秘儀

第2巻 星座の秘密

——星座年代記：人類の未来と人生——

東條真人〔著〕

MIBOAT

2021

Mysteria Mithrae : Zodiacal Chronicles of

Evolution of Mankind

Vol. 2 Secret of Signs

By Masato Tojo, Ph. D.

2021

ISBN 978-4-901038-16-4

表紙絵 東條真人〔画〕

# 目次

はんれい  
凡例 ..... 9

じよ  
序 ..... 10

だい ふ せいぎねんだいき  
**第1部 星座年代記**

だい しやう せいぎねんだいき  
第1章 星座年代記とは ..... 14

せいぎねんだいき だれ しる なに しゆるい とくちやう じゆう  
星座年代記とは／誰が記したか／ねらいは何か／種類／特徴／十  
にせいぎ わ まわ かた せいぎねんだいき ないよう  
二星座の輪の回り方／星座年代記の内容

だい しやう せいぎねんだいき せいほう きゆうばん  
第2章 星座年代記: 西方ミトラ教版 ..... 21

やぎざ おうごん しゆぞく じだい  
山羊座 「黄金の種族」の時代  
いてぎ はくぎん しゆぞく しやくどう しゆぞく じだい  
射手座 「白銀の種族」と「赤銅の種族」の時代  
さそりざ くろてつ しゆぞく じだい  
蠍座 「黒鉄の種族」の時代  
てんびんざ げんせいじんるい じだい  
天秤座 「現生人類」の時代  
おとめざ まじんぞく ようまぞく じだい  
乙女座 「魔人族と妖魔族」の時代  
ししざ たいようけいせいめいきやうどうたい じだい  
獅子座 「太陽系生命共同体」の時代  
かにざ こうじん たびだ じだい  
蟹座 光人になって旅立つ時代  
ふたござ すいせいかい たび  
双子座 水星界の旅  
おうしざ きんせいかい たび  
牡牛座 金星界の旅  
おひつじざ かせいかい たび  
牡羊座 火星界の旅  
うおざ もくせいかい たび  
魚座 木星界の旅  
みずがめざ どせいかい じゆうにせいざかい たび  
水瓶座 土星界と十二星座界の旅

だい しやう せいぎねんだいき とうほう きゆうばん  
第3章 星座年代記: 東方ミトラ教版 ..... 104

おひつじぎ げんじん し  
 牡羊座 原人オフルミズドの死  
 おうしぎ だろにんぎよう たんじよう  
 牡牛座 泥人形の誕生  
 ふたござ らくえん す  
 双子座 楽園に住む  
 かにぎ にくたい せいじゆく  
 蟹座 肉体が成熟する  
 ししぎ せいよく ほうはつ  
 獅子座 性欲が暴発する  
 おとめざ はんせい  
 乙女座 反省する  
 てんびんざ ぜんじんるいてき ひぎ はじ  
 天秤座 全人類的な秘儀の始まり  
 さそりぎ み は きよじんぞく  
 蠍座 見張りと巨人族  
 いてぎ  
 射手座 ソドムとゴモラ  
 やぎざ せいほう ゆうあい  
 山羊座 聖法と友愛  
 みずがめざ ゆうあい ひろ  
 水瓶座 友愛の広がり  
 うおざ しよきようえんゆう  
 魚座 諸教円融

だいしよう せいぎねんだいき せいきうげん  
 第4章 星座年代記:サビアン星教版

.....195

おひつじぎ えいえんかい  
 牡羊座 永遠界  
 おうしぎ だろにんぎよう たんじよう  
 牡牛座 泥人形の誕生  
 ふたござ らくえん す  
 双子座 楽園に住む  
 かにぎ にくたい せいじゆく  
 蟹座 肉体が成熟する  
 ししぎ よくほう ほうはつ  
 獅子座 欲望が暴発する  
 おとめざ はんせい  
 乙女座 反省する  
 てんびんざ ぜんじんるいてき ひぎ はじ  
 天秤座 全人類的な秘儀の始まり  
 さそりぎ み は きよじんぞく  
 蠍座 見張りと巨人族  
 いてぎ  
 射手座 ソドムとゴモラ  
 やぎざ せいほう ゆうあい  
 山羊座 聖法と友愛  
 みずがめざ ゆうあい ひろ  
 水瓶座 友愛の広がり  
 うおざ しよきようえんゆう  
 魚座 諸教円融

だいしやう せいぎねんだいき ぼん  
第5章 星座年代記:メタロン版

307

おひつじぎ えいえんかい  
牡羊座 永遠界  
おうしぎ かつれいかい くだ  
牡牛座 活霊界に下る  
ふたごぎ だいてんしかい くだ  
双子座 大天使界に下る  
かにぎ ぶつつかい くだ  
蟹座 物質界に下る  
ししぎ ようまかい い  
獅子座 妖魔界に行く  
おとめぎ はんせい  
乙女座 反省する  
てんびんぎ アダムとイヴとその子孫 しそん  
天秤座  
さそりぎ み は きよじんぞく  
蠍座 見張りと巨人族  
いてぎ ソドムとゴモラ  
やぎぎ せいほう ゆうあい  
山羊座 聖法と友愛  
みずがめぎ ゆうあい ひろ  
水瓶座 友愛の広がり  
うおぎ しよきやうえんゆう  
魚座 諸教円融

だいしやう せいぎねんだいき とうほうしんちがくほん  
第6章 星座年代記:東方神智学版

425

おひつじぎ えいえんかい いこ  
牡羊座 永遠界に憩う  
おうしぎ かつれいかい くだ  
牡牛座 活霊界に下る  
ふたごぎ だいてんしかい くだ  
双子座 大天使界に下る  
かにぎ にんげんかい くだ  
蟹座 人間界に下る  
ししぎ アザゼルの誘惑 ゆうわく  
獅子座  
おとめぎ ひぎ はい  
乙女座 《ミラの秘儀》に入る  
てんびんぎ ニンフになる  
天秤座  
さそりぎ ミレス・プシュケーになる  
いてぎ レオ・レアイナになる  
射手座  
かんもんしけん  
関門試験  
やぎぎ ペルセスになる  
みずがめぎ ヘリオドロムスになる  
水瓶座

うおぎ  
魚座 アクイラになる

だい しゅう せいざねんだいき せんせいがくはん  
第7章 星座年代記:サビアン占星学版 .....506

おひつじ れいかい はな  
牡羊座 霊界を離れる  
おうしぎ にくたい も  
牡牛座 肉体を持つ  
ふたござ ようしやうき  
双子座 幼少期  
かにざ ししゆんき せい ぶんか  
蟹座 思春期:性の分化  
ししぎ じが めぎ  
獅子座 自我の目覚め  
おとめざ はんせいしん じ こしゆうせいりよく めぼ  
乙女座 反省心と自己修正力が芽生える  
てんびんざ よのなか じぶん あ  
天秤座 世の中に自分を合わせる  
さそりざ しゃかい まいぼつ  
蠍座 社会に埋没する  
いてぎ じ こじつげん めぎ  
射手座 自己実現を目指す  
やぎざ しゃかいでき たちば さだ  
山羊座 社会的な立場が定まる  
みずがめざ かたがき じゆう  
水瓶座 肩書から自由になる  
うおぎ えいえんかい いしき む  
魚座 永遠界に意識が向く  
ひよう せいざねんだいき  
まとめの表その1 星座年代記のポイント  
ひよう せいざねんだいき ひかくたいしやう  
まとめの表その2 星座年代記の比較対照  
ひよう ひぎ > かんけい  
まとめの表その3 《ミラの秘儀》との関係

だい ふ かいせつ  
第2部 解説

だい しゅう せいほう きやうばん かいせつ  
第8章 西方ミラ教版の解説 .....548

もとになっている神話/経典/成立時期/誰がつくったか/宗派/ミ  
ラ七曜神の名前/十二星座輪の回り方/世界周期/西方ミラ教版の  
概要/西方ミラ教版の特徴/七芒星十二星座輪/星座年代記と《ミラ  
の秘儀》/ミラの秘儀:上昇の道/ミラの秘儀:惑星の配置/コスモス  
の創造/星座:支配星と三状態と四元素

第9章 東方ミトラ教版の解説 .....566

もとになっている神話／経典／成立時期／誰がつくったか／宗派／ミトラ七曜神の名前／十二星座輪の回り方／東方ミトラ教版の概要／東方ミトラ教版の解説／東方ミトラ教版の特徴／特徴補足／七芒星十二星座輪:方式A／西方版の改良点／土星の細分／ミトラの秘儀／占星医学

第10章 サビアン星教版の解説 .....594

もとになっている神話／経典／成立時期／誰がつくったか／宗派／ミトラ七曜神の名前／東方ミトラ教版とのちがい／釈迦と仏教の位置付け／十二星座輪の回り方／サビアン星教版の概要／サビアン星教版の解説／サビアン星教版の特徴／ミトラの秘儀:十二星座輪への埋め込み／七芒星十二星座輪／ミトラの秘儀:東方神智学的な哲学瞑想／存在階層／参考

第11章 メタロン版の解説 .....637

アラブ・ユダヤのミトラ教／宗派／メタロン／神秘主義とは／メタロンとヤーウェ／惑星神／大天使／生命の木／存在階層／十二星座の回り方／メタロン版の概要／メタロン版の解説／ミトラの秘儀:十二星座輪への埋め込み／《生命の木》をたどる:その1／《生命の木》をたどる:その2

第12章 東方神智学版の解説 .....664

もとになっている神話／経典／誰がつくったか／宗派／ミトラ七曜神の名前／十二星座の回り方／東方神智学版の概要／東方神智学版の特徴／ミトラの秘儀

第13章 サビアン占星学版の解説 .....677

ガイド／サビアン占星学版について／エゼキエルの輪／サビアンシン

たんじょう ひ ぎ にちじょうか じゅうにせいぎ まわ かた せんせいがくばん がいよう  
ボルの誕生／秘儀の日常化／十二星座の回り方／占星学版の概要／  
せんせいがくばん とくちよう とくちよう  
占星学版の特徴とねらい／特徴

だい ぶ ちしき せいり かくじゅう  
**第3部 知識の整理と拡充**

だい しょう にんげん みらい  
**第14章 人間とその未来** .....690

げんじん げんじん ひかり みようしょう げんじん い み やくわり るい  
ガイド／原人(元人)／光のかげら(明性)／原人の意味と役割／人類  
しんか こじん せいちよう じんるい みらい じだい へんか じんるい ゆめ ふううちょうじゆめ  
の進化と個人の成長／人類の未来／時代の変化／人類の夢:不老長寿  
そうけんれいび まじんぞく じだい じだい まじんぞく ようまぞく でんし  
と壮麗美／魔人族の時代:どうい時代か／魔人族／妖魔族／電子  
ようせいぞく ひ ぎ ぜんせいべつ ひ ぎ  
妖精族／ミトラの秘儀／全性別(オールジェンダー)の秘儀

だい しょう こうたい めいそうほう  
**第15章 光体づくりの瞑想法** .....707

しゆるい てんじんしょうおう めいそうほう きょうてん てんじんしょうおう めいそうほう とくちよう  
種類／天神照応の瞑想法／マニ／経典／天人照応の瞑想法の特徴／  
こうたい じゆんび こうたい めいそうほう こうたい  
光体づくりの準備／光体づくりのための瞑想法:シナリオ A／光体づくり  
めいそうほう  
のための瞑想法:シナリオ B

だい しょう ほし ちえ  
**第16章 星の智慧** .....728

けんきょう ひきょう せんせいがく ほし れんきんじゆつ ひ ぎ おうよう  
頭教と秘教／占星医学／星の錬金術／秘儀の応用

だい しょう ひきょうせんせいがく  
**第17章 秘教占星学** .....747

けんきょう ひきょう せんせいがく ほし れんきんじゆつ けんきゅう すず かた  
頭教と秘教／占星医学／星の錬金術／研究の進め方

だい しちほうせい  
**第18章 七芒星** .....762

しちほうせい わくせいはいれつ しちようはいれつ ひ ぎはいれつ ひ ぎはいれつ  
七芒星／カルデア式惑星配列／七曜配列／秘儀配列／秘儀配列に  
ひ なないかい さんこう れきし だんせつ  
秘められた奥義／七位階／参考:歴史と伝説

だい しょう わくせいしん  
**第19章 惑星神とダイモン** .....781

なまえ こうせん わくせい かみがみ かんけい わくせいしん だいてんし  
ガイド／名前／光線、惑星、神々の関係／惑星神(大天使)とダイモン



ほくとしちせい こだいななこうせん わくせい  
／北斗七星／古代七光線／惑星とダイモーンのテーマ

だい しょう しはいせい ひみつ  
**第20章 支配星の秘密** .....798

しはいかんけい しょうおうかんけい せつめい せいざしはい せいちようはつたつ かんけい  
ガイド／支配関係／照応関係の説明／星座支配と成長発達の関係／  
せんせいじゆつてき おうぎ せんせいいがくてき おうぎ とき しはい しはいせい かくちよう  
占星術的な奥義／占星医学的な奥義／時の支配／支配星の拡張：  
きんだいいこう  
近代以降

だい しょう じゆうにせいざ  
**第21章 十二星座** .....817

じゆうにせいざ じゆうにせいざ たいよう うご せかいしゆうき  
ガイド／十二星座／十二星座をめぐる太陽の動き／世界周期／サビア  
れき ちゆうせい おうぎ きほんげんり み くみ よんげんそ じゆうにせいざ  
／暦：中世サビヤンの奥義／基本原理／三つ組×四元素＝十二星座

だい しょう せんざいかいそう いかい  
**第22章 存在階層と位階** .....830

かいそうこうぞう ひ ぎ かさ か み  
コスモスの階層構造／《ミラの秘儀》を重ねる／アラブ・ユダヤ化／三  
くみ み くみ とうほうでん ば にほん でんらい すくようきどう にほん  
つ組／「三つ組」の東方伝播／日本への伝来 その1 宿曜経／日本へ  
でんらい みつきどう にほん でんらい みよげん じようど またら  
の伝来 その2 密教／日本への伝来 その3 妙見・浄土・摩多羅・修  
げん してんのう にほん でんらい しんどう しんぶつ しょうおうかんけい  
験・四天王／日本への伝来 その4 神道／神仏の照応関係のまとめ／  
ひみつ もん かんもん  
《秘密の門》と《関門》

さんこうぶんけん  
**参考文献** ..... 868

ちやしゅ  
**著者プロフィール** ..... 870

おくつけ  
**奥付**

[目次へ](#)

## 凡例

• 下記の点を考慮して、すべての漢字、数字にルビを付けました。ただし、場所によっては、数字のルビをなしにしております。

専門用語が多い。

日本語に不慣れた読者への配慮。

日本語の数字は、読みにくいことへの配慮。

誰でも読めるようにハードルを低くすること。その第一歩。

『聖書』(日本語版)は、全文るび付きです。ルビ付きは、子ども用という意味ではありません。)

• 惑星と星座については、記号(シジル)に慣れることが重要なので、「太陽 ☉」、「牡羊座 ♈」のように記しました。

• 表は、なるべく、ページをまたがないようにしました。そのため、ページによっては、下部の余白が大きくなっています。

• 国際化、読者の多様化、世代の変化などが重なり、表記には苦勞しております。なにとぞ、ご理解とご容赦をたまわりたく、よろしくお願ひいたします。

[目次へ](#)

# 序

## はじめに

本書は、『ミラの秘儀』の本格的な哲学瞑想の書です。

すでに2冊刊行しているので、本書は3冊目ということになります。

- ▼ 東條真人『ミラの秘儀:惑星の秘密』……………実践指導書
- ▼ 東條真人『ミラの秘儀:星座の秘密』(本書) ……哲学瞑想書
- ▼ 東條真人『ミラの秘儀:友愛の秘密』(近刊) ……実践指導書
- ▼ 岡庭加奈『秘密のサビアン占星学』……………ミラ占星学の  
理論と実践の  
本格的な解説書

『ミラの秘儀』には、「哲学瞑想」(沈潜) khilvat というものがあります。

本書では、つぎの6つの星座年代記とその解説を読みながら、いっしょに哲学瞑想を深めていきます。

### 6つの星座年代記

- ・西方ミラ教版 ……ギリシャ・ローマ風
- ・東方ミラ教版 ……バビロニア風、弥勒教版の原形
- ・サビアン星教版 ……アラブ風
- ・メタロン版 ……ユダヤ風
- ・東方神智学版 ……クルド・ペルシヤ風
- ・占星学版 ……サビアン占星学の基礎

《ミトラの秘儀》における「哲学瞑想」は、特定の教義・思想・主義を学ばせて、それに染め上げることが目的ではありません。

年代記とかたちで、さまざまな話題と知識を提供し、日常生活に追われて狭くなりがちな意識を大きく広げて、つぎのようなことをあれこれ自由に考えて、思いを広げてもらうことが目的です。

・人間はどこから来て、どこに行くのか？  
・人生とは何か？  
・そもそも生きるとはどういうことなのか？  
・婚姻制度はなぜ必要なのか？  
・性の解放や、全性別の平等化(オールジェンダー化)はなぜ必要なのか？  
・全人類的な《ミトラの秘儀》  
・個人のための《ミトラの秘儀》  
・ミトラ教、サビアン星教、真サビアン教、メタロン=メルカバ神秘主義、東方神智学、弥勒教、花郎・花仙、仏教のつながりと広がり。これらは「友愛の教え」とどう関係してくるのか？

主なトピックを拾うと、つぎようになります：

### 主なトピック

- ・人類の未来(近未来と遠未来)
- ・宗教の未来
- ・「ミトラの友」の未来
- ・聖職者と神秘家の未来

- ちきゅう みらい きしやうへんどう しょくりよもんだい せいぶつがくてき きやうい  
 ・地球の未来 …気象変動、食糧問題、生物学的な脅威など
- たいやうけい みらい ほんかくてき わくせいゆいはつ  
 ・太陽系の未来 …本格的な惑星開発
- きん みらい あら まじんぞく ようまぞく でんのうようせいぞく  
 ・近未来に現われる魔族、妖魔族、電脳妖精族

- あたら かりやう かせん きやう みらい せいじ わかんけい きやうぞく すす  
 ・新しい花郎・花仙(ミトラ教の未来) …政治とは無関係に急速に進む  
 にほん ちゆうごく たいわん ちやうせんほんとう きやくとう  
 日本、中国、台湾、朝鮮半島、モンゴル、極東ロシア  
 ぶんかゆうごう  
 アの文化融合。

- ゆうあい ひろ ゆうあい せいあい せい かいほう ぜんせいべつびやうどうか  
 ・友愛の広がり …友愛から性愛へ、性の解放、全性別平等化(オール  
 ジェンダー化)、科学技術の進歩による劇的な変化
- せいほう ひろ であ きかい きんとうか にんしん こそだ あんていか  
 ・聖法の広がり …出会いの機会の均等化、妊娠と子育ての安定化、  
 じゃくしゃ ほご ひんぶ かくさき ぎむ ぬが  
 弱者の保護、貧富の格差をなくす義務、抜け駆けの  
 きんし みき はつしや きんし さいだいたすう さいだいこうふく  
 禁止、見切り発車の禁止、最大多数の最大幸福の  
 ついきゆう  
 追求

- にんげん たんじやう げんじん し てんし  
 ・人間の誕生 …原人オフルミズドの死(アブラ=マズダーの死)、天使  
 てんらく しんわ せいぶつがくてき いがくてき ほつせい  
 アダムの転落 …神話の生物学的・医学的な発生・  
 はったつりるんてき そくめん  
 発達理論的な側面

- ひかゆ みやうしやう りんねてんしやう  
 ・光のかげら(明性)の輪廻転生
- こうじん よる たび さと  
 ・光人たちの夜の旅 ……悟り
- こうたい めいそうほう とうほう きやう みろくきやう さと  
 ・光体づくりの瞑想法 …東方ミトラ教と弥勒教の悟り
- ぼん せいめい き ぼん きやう  
 ・メタロン版の「生命の木」 …ユダヤ版ミトラ教(メタロン=メルカバ  
 しんびしゆぎ せいめい き かんぜんりかい  
 神秘主義)のカバラ(生命の木):完全理解
- せいしよ ごろく りしゆきやう  
 ・聖書、コーラン、ルーミー語録、理趣経
- やくわり み は きよじんぞく  
 ・役割 …アダムとイブ、カインとアベル、セト、エノク、見張りりと巨人族、  
 ノア、アブラハム、ソドムとゴモラ、ヨセフ、モーゼ、バ  
 しやか まに  
 ルク(ザラタス)、釈迦、イエス、マニ(摩尼)、マホメツ

ト、アリー、バーキル、マフディー(キリストなるミトラ= 弥勒)。

•七芒星十二星座輪 …《ミトラの秘儀》を十二星座の輪の中に埋め込

む

•星座の基本構造 …支配星、「三つ組」(トリアド、カダル)と「四元素」(ク

アドラ、クーニー)

•サビアンシンボル …起源、基本構造

•存在階層と位階

•顕教(ザーヒル)と秘教(バーティン)

•占星医学と「星の錬金術」 …近未来の姿

[目次へ](#)

## 第1章 星座年代記とは



せい が えい えん たい よう しん はい けい へき が  
聖画 S.1 永遠なる太陽神ミトラ(背景はシリアのミレーアム壁画)

### 星座年代記とは

IN.1

せい ざ ねん だい き じん る い れ き し じゅう に せい  
「星座年代記」 the Chronicles of the Zodiac は、人類の歴史を十二星

座の流<sup>なが</sup>れに即<sup>そく</sup>して記<sup>しる</sup>した経<sup>きやうてん</sup>典<sup>てん</sup>です。ど<sup>ひと</sup>のよう<sup>こじん</sup>な人<sup>いっしやう</sup>であらうと、個人<sup>こじん</sup>の一生<sup>いっしやう</sup>は、ここ<sup>しる</sup>に記<sup>しる</sup>されている人<sup>じん</sup>類<sup>るい</sup>史<sup>し</sup>を駈<sup>か</sup>け足<sup>あし</sup>でなぞ<sup>あし</sup>ったものになります。

## 誰が記したか

### IN.2

これについては、詳<sup>くわ</sup>しい伝<sup>でん</sup>承<sup>しやう</sup>が残<sup>のこ</sup>っています。

ローマ帝国<sup>ていこく</sup>の大<sup>だい</sup>神<sup>しん</sup>智<sup>ち</sup>学<sup>がく</sup>者<sup>しや</sup>ポルピュリオス Πορφύριος, 234-c. 305 AD の著<sup>ちやうしやう</sup>書<sup>しやう</sup>『妖<sup>よう</sup>精<sup>せい</sup>の洞<sup>どう</sup>窟<sup>くつ</sup>』 *De antro nympharum* に詳<sup>くわ</sup>しく記<sup>しる</sup>されているからです。この伝<sup>でん</sup>承<sup>しやう</sup> (ミトラ伝<sup>でん</sup>説<sup>せつ</sup>)によれば、バルク (別<sup>べつ</sup>名<sup>めい</sup>グルアスタラ、ザラタス、ソロアスター) がミトラから授<sup>さず</sup>けられたのが始<sup>はじ</sup>まりで、それを「星<sup>ほし</sup>の教<sup>きやう</sup>師<sup>し</sup>」(カルデアの魔<sup>ま</sup>ぎ)たちが口<sup>く</sup>伝<sup>でん</sup>と文<sup>ぶん</sup>書<sup>しやう</sup>で伝<sup>でん</sup>え広<sup>ひろ</sup>めたという流<sup>なが</sup>れになっています。詳<sup>くわ</sup>細<sup>し</sup>は、下<sup>か</sup>記<sup>き</sup>に記<sup>しる</sup>されているので、そちらに譲<sup>ゆず</sup>ります:

- ・『ミトラ神<sup>しん</sup>話<sup>わ</sup> I 星<sup>ほし</sup>の物<sup>もの</sup>語<sup>がたり</sup>』 25
- ・『ミトラ神<sup>しん</sup>話<sup>わ</sup> II 友<sup>ゆう</sup>愛<sup>あい</sup>の物<sup>もの</sup>語<sup>がたり</sup>』 23
- ・『ミトラ神<sup>しん</sup>話<sup>わ</sup> III 無<sup>む</sup>限<sup>げん</sup>調<sup>てう</sup>和<sup>わ</sup>の物<sup>もの</sup>語<sup>がたり</sup>』 24
- ・『ミトラ教<sup>きやう</sup>の歴<sup>れき</sup>史<sup>し</sup>』第<sup>だい</sup>1部<sup>ぶ</sup>第<sup>だい</sup>8章<sup>ちやう</sup>
- ・ケウル0「西<sup>せい</sup>方<sup>ほう</sup>ダウル記<sup>き</sup>1」 21
- ・ケウル2「ゾロアスター伝<sup>でん</sup>その1」

「星<sup>ほし</sup>の教<sup>きやう</sup>師<sup>し</sup>」 guru-astara (astral teacher) の実<sup>じ</sup>態<sup>たい</sup>を具<sup>ぐ</sup>体的<sup>たいてき</sup>にいうと、ミトラ教<sup>きやう</sup>の魔<sup>ま</sup>ぎ(カルデアン・魔<sup>ま</sup>ぎ、マグサイオイ)、サビアン星<sup>せい</sup>教<sup>きやう</sup>・真<sup>しん</sup>サビアン教<sup>きやう</sup>の魔<sup>ま</sup>ぎ・ラビ・シャイフ、メタロン=メルカバ<sup>しん</sup>神<sup>しん</sup>秘<sup>ひ</sup>主<sup>しゆ</sup>義<sup>ぎ</sup>のラビと神<sup>しん</sup>秘<sup>ひ</sup>家<sup>か</sup>、「ミトラの友<sup>とも</sup>」である医<sup>い</sup>術<sup>じゆつ</sup>師<sup>し</sup>、軍<sup>ぐん</sup>医<sup>い</sup>、衛<sup>えい</sup>生<sup>せい</sup>兵<sup>へい</sup>、秘<sup>ひ</sup>儀<sup>ぎ</sup>導<sup>どう</sup>師<sup>し</sup>、行<sup>ひ</sup>者<sup>しや</sup>、哲<sup>てつ</sup>学<sup>がく</sup>者<sup>しや</sup>・神<sup>しん</sup>智<sup>ち</sup>学<sup>がく</sup>者<sup>しや</sup>、占<sup>せん</sup>星<sup>せい</sup>学<sup>がく</sup>者<sup>しや</sup>、占<sup>せん</sup>星<sup>せい</sup>術<sup>じゆつ</sup>師<sup>し</sup>、神<sup>しん</sup>秘<sup>ひ</sup>家<sup>か</sup>、星<sup>ほし</sup>の錬<sup>れん</sup>金<sup>きん</sup>術<sup>じゆつ</sup>師<sup>し</sup>のこ<sup>こと</sup>です。



# ねらい

## その 1

### IN.3.1

「星座年代記」のももとのねらいは、下記のこと分かりやすく教えることで  
す。

A1. 人類の進化 …人間はどこから来て、どこに行くのか？ その始まり  
から終わりまで。人類の未来。

A2. 人間の一生 …誕生から始まって、死後「光の国」に帰還するまで。  
輪廻転生の輪(サイクル)。

A3. 生き方 ………人生の標準パターン。幸福になるためのアドバイ  
ス。

## その 2

### IN.3.2

つぎの4つの奥義(秘密)を分かりやすく教えることです。

B1. 占星学の基礎

B2. 人生の標準パターン

B3. ミトラの秘儀

B4. 《生命の木》のたどり方

## その 3

### IN.3.3

秘教占星学の基本・基礎を教えること。

**\*秘教占星学** ひきょうせんせいがく ミトラ占星学せんせいがく (秘密ひみつのサビアン占星学せんせいがく) のことです。本書ほんしょ・第 3 部ぶの「顕教けんきょうと秘教ひきょう」で正確せいじやくに定義ていぎ・説明せつめいします。

## 種類

### IN. 4

つぎの 5 つがあります。

ギリシャ・ローマ版ばんは、ケウル 0 「西方せいほうダウル記き 2」のことで、ケウル 2 「西方せいほうダウル記き 4」は、その詳細版しじょうさいばんです。この 2 つが、残りのこすべての星座年せいざねん代記だいきの基本形きほんけいです。

ひょう 表 11.1 星座年代記の種類

しゅるい 種類	しんわ もとになっている神話	せいりつじき 成立時期	ほんしょ 本書
せいほう きょうばん 西方ミトラ教版	せいほう しんわ 西方ミトラ神話	いぜん 150 BC 以前	だい しょう 第 2 章
とうほう きょうばん 東方ミトラ教版	とうほう しんわ 東方ミトラ神話	せいきころ 3 世紀頃	だい しょう 第 3 章
せいきょうばん サビアン星教版	しんわ ミトラ＝メトロ ン神話	せいきころ 3～13 世紀頃	だい しょう 第 4 章
ばん メタロン版	しんわ ミトラ＝メトロ ン神話	せいきころ 8～13 世紀頃	だい しょう 第 5 章
とうほうしんちがくばん 東方神智学版	しんわ ミトラ＝メトロ ン神話	せいきころ 8～13 世紀頃	だい しょう 第 6 章
せんせいじゆつばん サビアン占星術版	ばん アラブ・ユダヤ版	せいき 20 世紀	だい しょう 第 7 章

†サビアン占星術版せんせいじゆつばん ジョーンズ＝ルディヤー版ばんのこと。

## 特徴

### IN. 5

星座年代記せいざねんたいきは、神話しんわに基づいて、上記じょうきの疑問ぎもんに答こたえているように見みえま

すが、そうではありません。

星の教師たちは、何世代にも渡って、修行と人間観察を行い、人間の意識(魂)と肉体の成長・発達についての知識を増やしてきました。こんにちの言葉でいうなら、それは、医学・生理学、発達心理学、生物学にまたがる知識です。

星座年代記は、神話というかたちをとっていますが、それを記した星の教師たちが、次第に、「医学・生理学+発達心理学+生物学+社会学」をベースにする方向に舵を切って行ったことは明らかです。

星の教師たちは、神秘性・宗教性を残しつつも、神話を「医学・生理学+発達心理学+生物学+社会学」的に分析して、神話の解釈(=神智学)をどんどん、科学化していったという言い方もできるでしょう。

このようなわけで、星座年代記を神話的な人間理解と考へてはいけません。神秘性・宗教性を残していますが、その解釈(=神智学)は、きわめて、「医学・生理学+発達心理学+生物学+社会学」的なものです。

## 輪の回り方

### IN.6

「十二星座の輪」を星座順にたどるとき、時計回りにたどる方法と、反時計回りにたどる方法があります。具体的なことは、各章と第2部で説明します。

ひょう せいざ おんだいき せいざ かた  
表 TIN.2 星座年代記における星座のたどり方

しゆるい 種類	まわ かた 回り方	きてん 基点	ほんしょ かいせつ 本書での解説
せいぼう きょうぼん 西方ミトラ教版	ほん と けいまわ 反時計回り	や ぎざ 山羊座♈	だい しょう 第 2 章
とうほう きょうぼん 東方ミトラ教版	と けいまわ 時計回り	お ひつじざ 牡羊座♈	だい しょう 第 3 章
せいきょうぼん サビアン星教版	と けいまわ 時計回り	お ひつじざ 牡羊座♈	だい しょう 第 4 章
ぼん メタロン版	と けいまわ 時計回り	お ひつじざ 牡羊座♈	だい しょう 第 5 章
とうほうしんち がくぼん 東方神智学版	と けいまわ 時計回り	お ひつじざ 牡羊座♈	だい しょう 第 6 章
せんせい がくぼん サビアン占星学版	と けいまわ 時計回り	お ひつじざ 牡羊座♈	だい しょう 第 7 章

## 星座年代記の内容

### IN.7

にんげん じんるい たんじょう ひみつ  
**人間（人類）誕生の秘密**

- げんじん し てんし だらく しんわてき きげん  
・原人オフルミズドの死(天使アダムの墮落) …神話的な起源。
- たんじょう せいちよう ほっせい せいちよう せんせい い がく  
・アダムとイブの誕生と成長 …発生と成長の占星医学。
- にんげん き し りかい ふか  
・「人間はどこから来たのか」を知る(理解を深める)。

じんるい しんか みらい  
**人類の進化と未来**

- じんるい し じゅうよう  
・人類史の重要なエピソードをたどる。
- じんるい し しゅうだんてき ひ ぎ めい ふくた  
(人類史は、集団的な《ミトラの秘儀》(冥府下り)になっている。)
- にんげん む し りかい ふか  
・「人間はどこに向かうのか」を知る(理解を深める)。

えいえんかい きかん たび よる たびじ  
**永遠界へ帰還する旅（夜の旅路）**

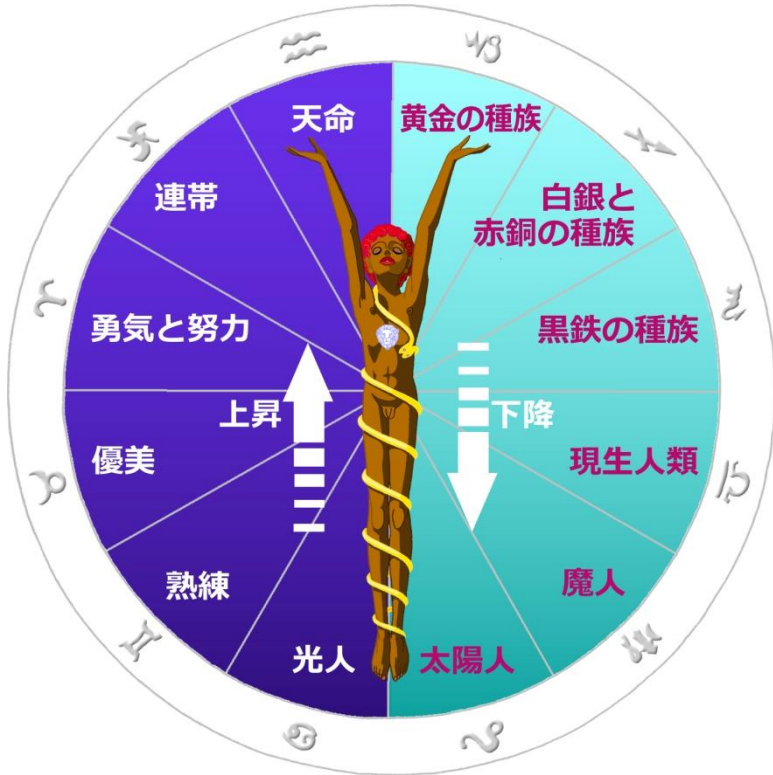
こうじん たびじ  
・光人の旅路。

しご たびじ こじんてき ひぎ てんきゅうそうじょうしやう ひぎ  
(死後の旅路は、個人的な《ミトラの秘儀》(天球層上昇の秘儀)にな  
っている。)

さと なに し りかい ふか  
・悟りとは何かについて知る(理解を深める)。

[目次へ](#)

## 第2章 星座年代記：西方ミトラ教版



せい が せいざねんだいきまんだら せいほう きょうぼん  
聖画 WM.1 星座年代記曼荼羅(西方ミトラ教版)

### 山羊座 「黄金の種族」の時代

周期

WM.1.1

やぎざ せかい ひる かつどうき さいしょ いちばんめ せいざ  
山羊座は、「世界の昼(活動期)」の最初(1番目)の星座です。

## できごと

### WM.1.2

#### はじ 始まり

ちゅうしん ちきゅう しよぶつ さかな とり じゅう す  
コスモスの中心に地球ができると、そこに植物、魚、鳥、獣が住みまし  
た。

せかい ちきゅう し き へんか いちねんじゅう おんだん  
世界(地球)にはまだ、四季の変化がなく、一年中、温暖でした。

おうごん しゅぞく す  
あるとき、そこに「黄金の種族」が住みつきました。

えいえんかい お き  
永遠界から降りて来たのです。

おうごん しゅぞく えいえんかい かい き  
「黄金の種族」は、永遠界(アイオーン界)からやって来ました。

えいえんかい かい す ひかり くに  
永遠界(アイオーン界)は、ミトラの住む光の国です。

ひかり えいえんかい す  
「光のかげら」たちは、永遠界にミトラとともに住んでいたのですが、ある  
とき、いっせいにコスモスの中に降りて来て、その中心にある地球に住み着  
いて、「黄金の種族」になったのです\*。

ちきゅう す かわれ ぶつしつ しんたい にくたい  
地球に住むとき、彼らはミトラに物質でできた身体、つまり肉体をつくっ  
てもらって、彼ら自身はその靈魂になったのでした。

#### おうごん しゅぞく とくちよう 黄金の種族の特徴

おうごん しゅぞく ひとびと がいけん のうりよく せいやく がんぼう  
こうして生まれた「黄金の種族」の人々は、外見も、能力も、性格も、願望  
も、みな同じで平等でした。

おうごん しゅぞく ひとびと りようせいぐゆう わか ながい  
「黄金の種族」の人々はみな、両性具有で、いつまでも若く、長生きでし  
た。

びようきし ふろうちようじゆ  
病気知らずで、不老長寿でした。

じぶん にくたい たにん にくたい かんしん  
自分の肉体にも、他人の肉体にも、まったく関心がありませんでした。

にくたい てい けしやう きかざ むかんしん  
肉体の手入れ、化粧、着飾ることなどには、まったく無関心でした。  
ひとびと わか けんこう おな がいけん おな のうりよく おな  
人々は、みな若く健康で、外見がみな同じで、能力も同じだったからで  
す。

かれ おうごん しゆぞく ひとびと だれ じきゆうじそく のうこうせいかつ  
彼ら——「黄金の種族」の人々——は、誰もが自給自足の農耕生活をし、  
みた たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり  
満ち足りていました。みな、無欲で、他人と自分を比較することも、他人を妬  
むこともなく、他人を自分の野心のために利用することはありませんでした。  
ひとびと お つ しぜん ちやうわ へいわ ぼっかてき い  
人々は落ち着いていて、自然と調和していて、平和に牧歌的に生きました。  
まったく、のんきに暮らしていました。みな平等で、格差も差別もありません  
でした。

なが とき た やぎざ じだい おお く おうごん しゆぞく ひとびと  
長い時が経ち、山羊座の時代の終わりが来ると、「黄金の種族」の人々は、  
ひとひとり、またひとりと眠りに着き、肉体を残して、生まれ故郷の永遠界に還つ  
て行きました。

\*「光のかけら」たちは、永遠界にミトラとともに住んでいたの…地球に住  
み着いて、「黄金の種族」になったのです ギリシャ神話風になっているが、  
もともとはゾロアスター教よりもはるかに古い原始ミトラ教の神話である。  
げんたい きやう きやう きやうてん きいち ぜろ  
現代クルドのミトラ教(ヤズダン教)の経典「ダウル記1」(ケウル0)にその  
げんけい いま のこ げんけい ぶん ちやうごく みろくきやう つた  
原形が今も残っている。この原形部分は、中国の弥勒教にも伝わっている  
⇒『ミトラ神話3:無限調和の物語』

## 支配者

### WM.2

どせいしん  
土星神。

ローマ名(ラテン名) …サトルヌス。

ギリシャ名 …クロノス。